

# 食品化学新聞



キミカ新オフィス完成予想図

## キミカ 千葉新オフィスを建設

### 社員と環境にやさしい設備を完備

キミカは、千葉県富津市に、オフィス、研究開発ラボ、品質管理ラボ、福利厚生施設を集約した

新オフィスを建設する予定である。新施設の総延べ床面積は3450平米、執務エリアを従来比3倍、研究エリアを4倍と大幅に拡大。「健康志向の高まりに伴う需要増」と「高度化する品質要求」への柔軟な対応を可能とする。今年7月着工、来年7月竣工を予定している。

共同開発を行う「食品アブリケーションラボ」を併設、約100名を収容できるセミナー室ではアクリン酸の普及と用途開発の加速が期待される。さらに、ダイナミックな構造設計による柱のない24×70mの巨大空間は社員間のコラボレーションを引き出し、新たな事業展開への柔軟な対応を可能とする。1階と2階は建物中央に配置されるクロス階段(内階段)でつながっているほか、大階段の周辺にはコミュニケーションスペースが広がるなど社員の回遊性を高め、組織の一体感を醸成する工夫が施される。

日本のSDGsの最高賞である「ジャパンSDGsアワード」の特別賞を食品メーカーで唯一受賞した企業として、施設全体の環境対応も徹底している。

さらに、有事の際の社員の安全確保のためBCP対策の充実を図る。建物全体を50cm底上げたほか、研究スペースと電気室を2階に配置し水害に備える。また、非常用発電機による電源バックアップで万一の停電に備え、基準の1.25倍以上の耐震性能を付与する見込みだ。